

## Rare Disease Day を迎えるにあたって



本年2月も、協和キリンは Rare Disease Day に向けた希少疾患コミュニティ支援の活動を社内外で実施していきます。今年の私たちのテーマである「公平性」と、これが私たちが働くコミュニティにとって何を意味するかを考え、協和キリン一人ひとりの自らの日々の行動が、患者さんにとっての価値に繋がっているかを考える機会といたします。

私たち協和キリンは先進的な技術を活用し、アンメットメディカルニーズの高い疾患の解決に挑み続けています。そして病気と向き合う人々に笑顔を届けたいという想いを胸に、有効な治療法が確立していない希少疾患の領域においても新たな医薬品を開発し、グローバルに展開しています。

希少疾患は特に、患者さんが自分の疾患の情報を得にくい為に孤独を感じやすいことや、正しい知識が医療従事者にも伝わりにくい為に治療が困難であること等が各国・各地域での課題です。これらの課題を解決していくことも製品を提供する私たちの重要な使命として、グローバルで連携を深めながら疾患啓発活動を進めております。

私たちは患者さんを身近に感じ、患者さんの声を聴く、そのための努力を惜しみません。

これからも協和キリンは希少・難治性疾患とともに生きる人々がどこにいても笑顔になれるような、Life-changing な価値を提供することを目指し続けます。